



BNY MELLON

INVESTMENT MANAGEMENT

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／その他資産（転換社債） |
| 信託期間 | 2016年11月28日から2021年11月26日まで |
| 運用方針 | 海外の転換社債を主要投資対象とし、信託期間を勘案しつつ、安定した収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 |
| 主要運用対象 | 海外の転換社債を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時（原則として毎年11月27日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で分配を行わないことがあります。 |

**BNYメロン・グローバル
好利回りCBファンド2016-11
（円ヘッジ）（限定追加型）**

追加型投信／海外／その他資産（転換社債）

償還運用報告書（全体版）

第5期（償還日：2021年11月26日）

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・グローバル好利回りCBファンド2016-11（円ヘッジ）（限定追加型）」は、2021年11月26日に満期償還となりました。

謹んで運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、みなさまのご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

運用商品開発部

電話番号：03-6756-4600（代表）

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

■設定以来の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | | 新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率 | 債 券 組 入 比 率 | 純資産 総 額 |
|----------------------------|---------------------|------------|------------------------------------|----------------|--------------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | | | |
| (設 定 日) 2016年11月28日 | 円 10,000 | 円 — | % — | % — | 百万円 3,632 |
| 1期(2017年11月27日) | 10,336 | 0 | 3.4 | 92.8 | 4,009 |
| 2期(2018年11月27日) | 10,256 | 0 | △0.8 | 83.8 | 2,978 |
| 3期(2019年11月27日) | 10,557 | 0 | 2.9 | 73.3 | 2,047 |
| 4期(2020年11月27日) | 10,560 | 0 | 0.0 | 32.2 | 1,744 |
| (償 還 時) 5期(2021年11月26日) | (償還価額) 10,524.83 | | △0.3 | — | 1,508 |

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率 | 債 券 組 入 比 率 |
|------------------------|---------------------|--------|------------------------------------|----------------|
| | 円 | 騰 落 率 | | |
| (期 首) 2020年11月27日 | 円 10,560 | % — | % 32.2 | % 19.9 |
| 11月末 | 10,567 | 0.1 | 32.1 | 19.9 |
| 12月末 | 10,562 | 0.0 | 20.8 | 32.0 |
| 2021年1月末 | 10,602 | 0.4 | 14.4 | 40.9 |
| 2月末 | 10,601 | 0.4 | 6.4 | 45.9 |
| 3月末 | 10,600 | 0.4 | 6.8 | 47.1 |
| 4月末 | 10,582 | 0.2 | 6.7 | 46.7 |
| 5月末 | 10,578 | 0.2 | 6.8 | 47.4 |
| 6月末 | 10,575 | 0.1 | — | 53.5 |
| 7月末 | 10,565 | 0.0 | — | 53.7 |
| 8月末 | 10,554 | △0.1 | — | 52.2 |
| 9月末 | 10,543 | △0.2 | — | 53.5 |
| 10月末 | 10,535 | △0.2 | — | 55.5 |
| (償 還 時) 2021年11月26日 | (償還価額) 10,524.83 | △0.3 | — | — |

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

◆設定来の基準価額推移



当ファンドは、2016年11月28日に設定され、2021年11月26日に償還となりました。1万口当たりの償還価額は10,524円83銭、信託期間中、収益の分配は行いませんでした。

みなさまのご愛顧に感謝申し上げます。

◆市場の概況と基準価額の主な変動要因

当ファンドは、実質的な運用について、BNYメロン・グループ傘下の運用会社であるインサイト・ノースアメリカ・エルエルシーに委託し、海外のCBを主要投資対象とし、信託期間を勘案しつつ、安定した収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。為替については、期を通じて、外貨建資産に対し原則として対円での為替ヘッジを行ったため、為替変動による影響は限定的でした。市場の概況と基準価額の主な変動要因は以下の通りでした。

第1期（期中騰落率3.4%）

（市場の概況）

当期のグローバルCB市場は、欧米の金融政策正常化への警戒感や北朝鮮情勢の悪化による地政学リスクの高まりなどを背景に短期的に下落する場面もありましたが、ドナルド・トランプ米大統領の経済政策や米国の景気拡大に対する期待の高まり、中国の景気減速懸念の後退、及び、ユーロ圏の景気改善を示唆する経済指標の発表が相次いだことなどをを受けて、期を通じて買い優勢の展開が続きました。また、代表的な株価指数であるS&P500種指数やナスダック総合指数が過去最高値を更新するなど株式市場が堅調に推移したことや、フランス大統領選挙の結果などをを受けて欧州の政治リスクが後退したことなども相場の上昇要因となりました。

（基準価額の主な変動要因）

上昇要因

- ・ドナルド・トランプ米大統領の経済政策や米国の景気拡大に対する期待が高まり、CB市場が期初から堅調に推移したこと。
- ・2017年4月以降、米国や中国など世界経済の改善基調が強まったこと、欧州の政治リスクが後退したことなどから、投資家のリスク選好度が回復したこと。

下落要因

- ・2017年8月、北朝鮮情勢の緊迫化などをを受けて投資家のリスク回避姿勢が高まったこと。

第2期（期中騰落率△0.8%）

（市場の概況）

当期のグローバルCB市場は、前期末比で下落しました。グローバルCB市場は、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペースが加速するとの見方が広がったことや米中通商関係が一段と悪化すると懸念が高まったことを受けて短期的に大きく下落する場面がありましたが、米国景気が堅調に推移する中で、期初から買い優勢の展開が続きました。5月以降は、米朝首脳会談の開催を受けてリスクを選好する動きが強まったものの、南欧諸国の政局不安などが上値を抑える要因となり、売り買いが交錯する展開となりました。10月から期末にかけては、主要株式市場が大きく下落したこと、イタリア財政問題や米中貿易摩擦に対する警戒感が強まったことを受けて、グローバルCB市場は軟調に推移しました。

（基準価額の主な変動要因）

上昇要因

- ・2018年1月、2017年末に米国税制改革法案が成立したことなどを背景に企業の業績予想が大きく上方修正され、CB市場が上昇したこと。

下落要因

- ・2018年2月上旬、米国株式市場の急落を受けてCB市場が大きく下落したこと。
- ・2018年10月、株式市場の大幅下落、イタリア財政問題や米中貿易摩擦に対する警戒感が強まったことなどをを受けて、CB市場が下落したこと。

第3期（期中騰落率2.9%）

（市場の概況）

当期のグローバルCB市場は、前期末比で上昇しました。グローバルCB市場は、上昇してスタートしたものの、主要株式市場が大きく下落したことに加え、米国の景気減速懸念の強まりや予算失効に伴う米政府機関の一部閉鎖などをを受けて、2018年の年末にかけて下落しました。年明け以降は、米中通商摩擦の長期化による世界経済の景気減速懸念の強まり、核開発を巡る米国とイランの関係悪化、及び、メイ首相の辞任を受けた英国政局の先行き不透明感の台頭などから短期的に弱含む場面がありましたが、米欧中の金融当局による金融緩和期待が高まったこと、米国の主要株価指数が上昇基調を維持したことなどがCB市場の下支え要因となり、期末まで買い優勢の展開が続きました。

（基準価額の主な変動要因）

上昇要因

- ・2019年年明け以降、米欧中の金融当局が景気動向に配慮する政策に転じたことなどをを受けて世界経済の減速懸念が後退し、グローバルCB市場が上昇したこと。

下落要因

- ・2018年12月、主要株式市場が大きく下落する中、グローバルCB市場が軟調に推移したこと。

第4期（期中騰落率0.0%）

（市場の概況）

当期のグローバルCB市場は、米中貿易協議の進展期待などを背景に世界経済に対する過度な景気減速懸念が後退したこと、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱の可能性が低下したことなどをを受けて、期初から堅調に推移しました。2020年2月後半から3月後半にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済の先行き不透明感が高まる中でリスク回避的な動きが強まり大きく下落しました。しかしながら、その後は、各国の金融・財政両面からの景気刺激策が好感されたことに加え、各国の経済活動の再開や新型コロナウイルスの治療薬やワクチン開発への期待などが下支え要因となり、グローバルCB市場は期末まで買い優勢の展開が続きました。

(基準価額の主な変動要因)

上昇要因

- ・ 期初から2020年2月後半にかけて、米中貿易協議の進展期待が高まる中で、グローバルCB市場が上昇したと。
- ・ 2020年4月以降、各国の金融・財政両面からの景気刺激策が好感されたことに加え、各国の経済活動の再開や新型コロナウイルスの治療薬やワクチン開発への期待などを背景に、グローバルCB市場が上昇したこと。

下落要因

- ・ 2020年2月後半から3月後半にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済の先行き不透明感が高まったことなどから、グローバルCB市場が急落したこと。

第5期（期中騰落率△0.3%）

(市場の概況)

期初、グローバルCB市場は、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待や欧米の金融当局による金融緩和姿勢の長期化観測、米国の追加経済対策の成立などが買い材料となり堅調に推移しました。その後、2021年2月以降は、ワクチンの配布が進み、世界経済の正常化への期待が高まる中、物価上昇懸念などから米国長期金利が上昇したことで市場は上値が重い展開となりました。2021年4月以降、金利の上昇は落ち着きを見せたものの、再び欧米の金融当局が物価上昇圧力などを背景に量的緩和の金融政策を正常化させることを表明したため、期末にかけて概ねレンジ内での推移となりました。

(基準価額の変動要因)

上昇要因

- ・ 期初から2021年2月にかけて、新型コロナウイルスワクチンが普及し、経済活動の再開が期待されたことで、グローバルCB市場が上昇したこと。

下落要因

- ・ 2021年3月以降、大規模な金融緩和の見直し懸念から、債券利回りが上昇したこと。

■ 1万口当たりの費用の明細

(2020年11月28日～2021年11月26日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|----------|------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 108 | % 1.026 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投信会社) | (70) | (0.658) | 信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (35) | (0.329) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| (受託会社) | (4) | (0.038) | 信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 0 | 0.000 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (0) | (0.000) | |
| (c) その他費用 | 12 | 0.111 | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (2) | (0.021) | 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に係る費用 |
| (監査費用) | (3) | (0.024) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印刷) | (1) | (0.010) | 目論見書・運用報告書等の印刷・交付等に係る費用 |
| (その他) | (6) | (0.056) | 金融商品取引に要する諸費用 |
| 合 計 | 120 | 1.137 | |
| 期中の平均基準価額は、10,572円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

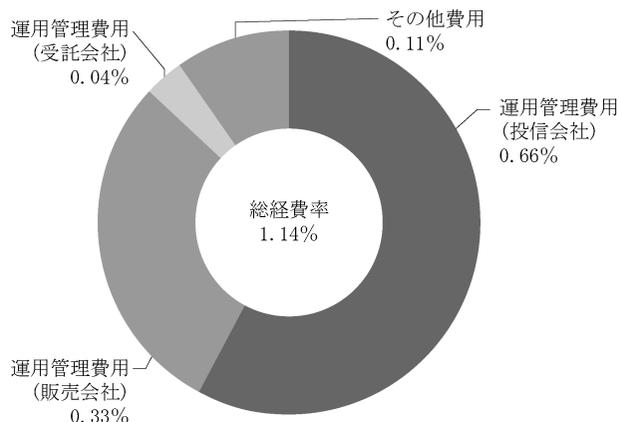
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.14%です。

(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



■ 売買及び取引の状況 株式

(2020年11月28日～2021年11月26日)

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|----|------|-----------------|------------------|----------|-----------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 外国 | アメリカ | 百株 — (15) | 千ドル — (21) | 百株 15 | 千ドル 23 |

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分です。

新株予約権付社債(転換社債)

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|----|---------|----------|----------|-------------------------|-------------------------|
| | | 額 面 | 金 額 | 額 面 | 金 額 |
| 外国 | ア メ リ カ | 千ドル — | 千ドル — | 千ドル 2,975 (2,350) | 千ドル 3,120 (2,283) |

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

| | | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|----|---------|----------------|--------------|----------------------|
| 外国 | ア メ リ カ | 国債証券 | 千ドル 6,462 | 千ドル 21 (7,379) |
| | | 社債券(投資法人債券を含む) | — | 150 (2,204) |

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

■ 株式売買比率

(2020年11月28日～2021年11月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|---------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 2,651千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | —千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | — |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 利害関係人との取引状況等

(2020年11月28日～2021年11月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(2021年11月26日現在)

2021年11月26日現在、有価証券等の組入れはございません。前期末の組入れは以下の通りでした。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 前 期 | | | | 末 | | | |
|---------|-------|-------|---------|------|-----------------|-----------|------|------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千ドル | 千ドル | 千円 | % | % | % | % | % |
| ア メ リ カ | 8,625 | 8,725 | 908,720 | 52.1 | 20.2 | 2.9 | — | 49.2 |
| 合 計 | 8,625 | 8,725 | 908,720 | 52.1 | 20.2 | 2.9 | — | 49.2 |

(注) 邦貨換算金額は、前期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘 柄 | 前 期 | | | | 末 | | |
|--------------------|---------------------------|----------|-------|--------|--------|------------|--|
| | 利 率 | 額面金額 | 評 価 額 | | 償還年月日 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | |
| アメリカ | % | 千ドル | 千ドル | 千円 | | | |
| 国債証券 | US TREASURY FRN 2021-10 | 0.400025 | 950 | 952 | 99,201 | 2021/10/31 | |
| 新株予約権付社債 (転換社債) | 0.25% TEVA PHARM CO 2/26 | 0.25 | 500 | 492 | 51,292 | 2026/2/1 | |
| | 1% CARDTRONICS INC 12/20 | 1.0 | 650 | 650 | 67,697 | 2020/12/1 | |
| | 1% TWITTER INC 09/21 | 1.0 | 500 | 501 | 52,179 | 2021/9/15 | |
| | 1.5% VERINT SYSTEM 06/21 | 1.5 | 675 | 701 | 73,015 | 2021/6/1 | |
| | 2.875% TUTOR PERINI 6/21 | 2.875 | 550 | 538 | 56,136 | 2021/6/15 | |
| | 3.75% VEREIT, INC. 12/20 | 3.75 | 700 | 700 | 72,907 | 2020/12/15 | |
| | 3.75% SPIRIT REALTY 5/21 | 3.75 | 800 | 807 | 84,136 | 2021/5/15 | |
| | 5.25% ARBOR REALTY 07/21 | 5.25 | 300 | 366 | 38,138 | 2021/7/1 | |
| | 5.25% ARBOR REALTY TR7/21 | 5.25 | 200 | 247 | 25,770 | 2021/7/1 | |
| | 6% TIMKENSTEEL 06/21 | 6.0 | 450 | 383 | 39,983 | 2021/6/1 | |
| 普通社債券 | 1.9% NISSAN MOTOR 9/21 | 1.9 | 250 | 251 | 26,205 | 2021/9/14 | |
| (含む投資法人債券) | 2.875% SANTANDER UK08/21 | 2.875 | 100 | 101 | 10,587 | 2021/8/5 | |

| 銘 柄 | 前 期 末 | | | | | |
|------------|--------------------------|-------|-------|--------|---------|-----------|
| | 利 率 | 額面金額 | 評 価 額 | | 償還年月日 | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| アメリカ | % | 千ドル | 千ドル | 千円 | | |
| 普通社債券 | 3.125% JD.COM 04/21 | 3.125 | 400 | 404 | 42,095 | 2021/4/29 |
| (含む投資法人債券) | 3.2% BARCLAYS PLC 08/21 | 3.2 | 200 | 203 | 21,215 | 2021/8/10 |
| | 3.2% GEN MOTORS FIN 7/21 | 3.2 | 300 | 303 | 31,627 | 2021/7/6 |
| | 3.375% DEUTSCHE BANK5/21 | 3.375 | 300 | 303 | 31,577 | 2021/5/12 |
| | 3.5% BAYER AG 06/21 | 3.5 | 200 | 202 | 21,138 | 2021/6/25 |
| | 3.75% SYN FINANCIAL 8/21 | 3.75 | 200 | 203 | 21,175 | 2021/8/15 |
| | 4.125% ORANGE SA 9/21 | 4.125 | 250 | 257 | 26,784 | 2021/9/14 |
| | 5.1% KEYCORP 03/21 | 5.1 | 110 | 111 | 11,632 | 2021/3/24 |
| | 5.6% DEXUS DIVERSIFI3/21 | 5.6 | 40 | 40 | 4,220 | 2021/3/15 |
| 合計 | | | | | 908,720 | |

(注) 邦貨換算金額は、前期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年11月26日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 1,516,518 | 100.0 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 1,516,518 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年11月26日現在)

| 項 目 | 償 還 時 |
|------------------|----------------|
| (A) 資 産 | 1,516,518,390円 |
| コール・ローン等 | 1,516,518,390 |
| (B) 負 債 | 8,238,925 |
| 未払信託報酬 | 8,033,428 |
| その他未払費用 | 205,497 |
| (C) 純資産総額(A - B) | 1,508,279,465 |
| 元 本 | 1,433,068,300 |
| 償 還 差 益 金 | 75,211,165 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 1,433,068,300口 |
| 1万口当たり償還価額(C/D) | 10,524円83銭 |

(注) 当ファンドの期首元本額は1,651,718,332円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は218,650,032円です。

(注) 期末の1口当たり純資産額は1.052483円です。

■損益の状況 (2020年11月28日～2021年11月26日)

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------------|--------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 10,216,157円 |
| 受 取 利 息 | 9,332,740 |
| そ の 他 収 益 金 | 883,417 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 1,687,816 |
| 売 買 益 | 35,921,301 |
| 売 買 損 | △ 34,233,485 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 18,350,913 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A + B + C) | △ 6,446,940 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | 82,609,414 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 951,309 |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 951,309) |
| 償 還 差 益 金 (D + E + F) | 75,211,165 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するために要する費用として委託者報酬から支弁している額：信託財産の純資産総額に年0.37%を乗じて得た額

■投資信託財産運用総括表

| | | | | | |
|----------|----------------|----------------|-----------------|--------------|----------------|
| 信託期間 | 投資信託契約締結日 | 2016年11月28日 | | 投資信託契約終了時の状況 | |
| | 投資信託契約終了日 | 2021年11月26日 | | | |
| 区分 | 投資信託契約締結当初 | 投資信託契約終了時 | 差引増減または追加信託 | 資産総額 | 1,516,518,390円 |
| | | | | 負債総額 | 8,238,925円 |
| 受益権口数 | 3,632,124,707口 | 1,433,068,300口 | △2,199,056,407口 | 純資産総額 | 1,508,279,465円 |
| | | | | 受益権口数 | 1,433,068,300口 |
| 元本額 | 3,632,124,707円 | 1,433,068,300円 | △2,199,056,407円 | 1万口当たり償還金 | 10,524.83円 |
| 毎計算期末の状況 | | | | | |
| 計算期 | 元本額 | 純資産総額 | 基準価額 | 1万口当たり分配金 | |
| | | | | 金額 | 分配率 |
| 第1期 | 3,879,328,089円 | 4,009,499,256円 | 10,336円 | 0円 | 0.0000% |
| 第2期 | 2,904,467,438 | 2,978,733,281 | 10,256 | 0 | 0.0000 |
| 第3期 | 1,939,168,247 | 2,047,166,415 | 10,557 | 0 | 0.0000 |
| 第4期 | 1,651,718,332 | 1,744,223,163 | 10,560 | 0 | 0.0000 |

■償還金のお知らせ

| | |
|----------------|------------|
| 1万口当たり償還金(税込み) | 10,524円83銭 |
|----------------|------------|

■お知らせ

約款変更のお知らせ

運用委託先の事業承継により「インサイト・ノースアメリカ・エルエルシー」が運用を行うこととなったため、約款に所要の変更を行いました。(2021年9月1日付)

当ファンドは2021年11月26日をもって、信託期間を満了し、償還となりました。
みなさまのご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。